

## ドイツ・ブレーメン自由ハンザ都市政治・経済合同代表団の来所について

URA 森下 麻紗代

広報データ管理室 (兼)月面都市開発研究センター

令和 8 年 5 月 28 日 (木)、ドイツ・ブレーメン自由ハンザ都市の政治・経済合同代表団 23 名 (随行者を含む) が、接合科学研究所および月面都市開発研究センターを訪問しました。ブレーメンは欧州有数の航空宇宙産業の集積地であり、今回の代表団は、ドイツ連邦参議院議長兼ブレーメン市長であるアンドレアス・ボヴェンシュルテ博士を団長とし、政府関係者、大学関係者、企業関係者などで構成されています。

代表団は、日本の航空宇宙分野、特に大学・研究機関との連携強化および将来的な協力関係の構築に強い関心を寄せています。今回の訪問は、ドイツ航空宇宙センター (DLR) 東京事務所からの紹介を受け、本学国際部を通じて打診があったものであり、当研究所・センターにとって大変名誉な機会となりました。

当日は、藤井英俊 接合科学研究所長・先導的学際研究機構附属月面都市開発研究センター長より、最先端の大気生成装置や宇宙での活用が期待される Additive Manufacturing 技術について説明が行われました。その後、代表団は 3 班に分かれ、最先端の Additive Manufacturing 技術の実機見学を実施しました。説明や見学の場では多くの質問が寄せられ、当研究所およびセンターが有する研究シーズへの高い関心を強く感じることができました。

今回の訪問を契機として、今後の関係構築や産学連携をさらに推進し、日独双方の学術・産業分野の発展に寄与していくことが期待されます。

